

□主な内容

**【EST 推進地域の登録制度を見直しました】**

EST 普及推進委員会が実施している EST 推進地域登録制度について、現状を踏まえ、要綱と申請書の一部修正をおこないました。

**【1/31(土)に近畿 EST シンポジウムを開催します】**

豊中市、近畿運輸局、交通エコロジー・モビリティ財団、EST普及推進委員会等は、豊中市のアクア文化ホールで、ESTに関するシンポジウムを 1/31(土)に開催します。

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 30 回)

●「自動車社会とESTを考える」

【SEV／人と環境にやさしい交通をめざす協議会、

NPO 法人／エコエネルギーによる地域交通システム推進協会 内田敬之】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 30 回)

●「千歳市でのESTの取り組み」

【千歳市市民環境部主幹(公共交通担当) 小田賢一】

3. ニュース／トピック

●EST 推進地域の登録制度を一部見直しました【EST 普及推進委員会】

●交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合 (MEET)【国土交通省】

●タイヤに関する省エネ対策について【国土交通省、経済産業省】

●大手民鉄16社 年末年始定期外旅客輸送実績—対前年比1.8%の増加—【日本民営鉄道協会】

●「エコ～る de おでかけ」社会実験を開始します【阪神都市圏公共交通利用促進会議】

●岐阜市コミュニティバス運行事業者の公募について【岐阜市】

●カーシェアリング事業への参画と会員募集の開始【三井物産、カーシェアリング・ジャパン株式会社】

●物流環境大賞の応募を受け付けています【日本物流団体連合会】

●地球温暖化防止・CO2 排出量削減に向け天然ガス充填スタンド 16ヶ所新設【佐川急便】

4. イベント情報

- 近畿 EST シンポジウム【2009/1/31】
- 交通環境フォーラム2009 in さいたま【2009/2/6】
- 第2回 グリーンロジスティクス推進フォーラム【2009/2/17】
- 第4回アジア EST 地域フォーラム【2009/2/24-26】
- 交通権学会関東部会【2009/3/7】
- エコカーワールド2009(低公害車フェア)【2009/6/6,7】
- 第四回 日本モビリティ・マネジメント会議【2009/7/31,8/1】

## 5. その他

- 記事募集中！

---

### 1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第30回)

#### ●「自動車社会とESTを考える」

【SEV／人と環境にやさしい交通をめざす協議会、  
NPO 法人／エコエネルギーによる地域交通システム推進協会 内田敬之】

スフィンクスやギザのピラミッドのツアーは、エジプト観光の大きな魅力でしょう。

しかし今、こうした遺跡が崩壊しそうだと心配されてます。

このままだと遠からずスフィンクスのクビは落ち、胴体も破断しかねないといえます。

猛スピードで進む塩害のせいです。

原因は、大気汚染が酷くなったこと、遺跡の間近かまで住宅が拡ってきたこと、それに食糧増産のために耕作地が広がり肥料の使用が増えたなどと、色々と重なっているらしいです。

今日の社会的な諸問題は、どれを取り上げても原因は色々と重なっています。

自動車社会・・・、現在、わが国には7,600万台の自動車が走っています。

自動車の排ガスを減らしていくことは、地球環境を守るために緊急の課題のひとつです。

一方、国土の8割近いエリアでは、車が無いと生活していけない現状があります。

福井、群馬、富山、岐阜、山形をはじめ、中山間地域では一世帯に2台の車が普通です。

バス路線の廃止が進み、そんな地域は大都市周辺にも広がってきました。

通勤に、買い物に、通院に、生活のためには自動車が手放せない地域が、新たに産み出されています。

そうした地域の生活、いわば「生存権」守ること、言い換えれば「交通権」は護ることが求められています。

自動車にかわる移動手段の提供、年金生活の範囲で維持できる交通手段の実現が必要です。

EST(環境的に持続可能な交通)実現への取り組みは、交通弱者の「生活環境」を守る視点を併せもった活動が必要だと考えています。

## 2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第30回)

### ●「千歳市でのESTの取り組み」

【千歳市市民環境部主幹(公共交通担当) 小田賢一】

千歳市では、昨年7月に世界15カ国から選抜された青少年が「環境」をテーマに議論する「ジュニア8サミット」が開催されました。準備期間からの市民組織によるアイドリング・ストップ運動の取り組みなどを通じて、市民の環境に対する意識は大変高まってきています。

一方で、環境に優しい公共交通である市内路線バスの利用者は減少傾向にあり、平成20年度はEST普及推進地域の指定を受け、公共交通の利用促進を中心とした取り組みを行っています。

まず、バスの利便性向上策としてバスガイドマップを作成し全戸に配布するとともに、当市は転入者が多いことから、転入される方々に素早くバスの情報をお知らせするため、バスガイドキットを転入手続き時に手渡ししています。

さらに、環境と交通を主題としたニュースレターを定期的に発行し、全戸に配布し啓発に努めています。12月には、「環境と交通に関するシンポジウム」を開催し、約250名の参加者と共に環境に優しい交通行動を考えることができました。

その他に、コミュニティバスを利用した「こどもパスポート」の発行、交通エコロジ教室の実施など、次代を担う小学生や中学生を対象とした取り組みを進めるとともに、市職員を対象としたエコ通勤を実施しました。

今後も、バス路線の安定確保や利便性向上、CO<sub>2</sub>の排出量削減につなげるため、地域や市民と連携した啓発活動の継続的な実施や企業でのエコ通勤の推進を図り、実現に向け取り組んでまいりたいと考えています。

---

## 3. ニュース／トピック

### ●EST 推進地域の登録制度を一部見直しました【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会は、昨年4月より実施してきた本制度をより多くの地方自治体の皆様に活用していただくため、環境改善目標の設定等について一部修正をしました。詳細は下記 URL をご確認下さい。EST を目指して交通環境対策を推進する多くの地方自治体の皆様のご登録をお待ちしています。

<http://www.estfukyu.jp/estsuishinchiiki.html>

### ●交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合 (MEET)【国土交通省】

国土交通省は、2009(平成21)年1月14～16日、主要国・関係主要国際機関を招いて、「交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合」(通称:MEET)を主催しました。以下に開催結果が掲載されています。

<http://www.mlit.go.jp/kokusai/MEET/result.html>

●**タイヤに関する省エネ対策について【国土交通省、経済産業省】**

国土交通省及び経済産業省では、運輸部門のエネルギー消費効率を向上させるために、自動車で使用されているタイヤについて、関係団体等も含めた「低燃費タイヤ等普及促進協議会」を設置し、今後のタイヤに関する省エネ対策として、平成20年度中にその方向性を取りまとめます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10\\_hh\\_000021.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000021.html)

●**大手民鉄16社 年末年始定期外旅客輸送実績—対前年比1.8%の増加—【日本民営鉄道協会】**

大手民鉄16社(東武・西武・京成・京王・小田急・東急・京急・東京メトロ・相鉄・名鉄・近鉄・南海・京阪・阪急・阪神・西鉄)の年末年始定期外旅客輸送実績が出揃いました。12月31日(水)から1月3日(土)までの4日間、大手民鉄16社の定期外旅客輸送人員合計は、3,080万人(対前年比1.8%増)となりました。

<http://www.mintetsu.or.jp/society/news/Individual/6255.html>

●**「エコ～る de おでかけ」社会実験を開始します【阪神都市圏公共交通利用促進会議】**

阪神都市圏公共交通利用促進会議は、複数の交通事業者が連携した適切なバス乗り継ぎ情報提供を行うことにより、駅でのバスの乗り継ぎ利便性を向上させ、通勤や施設利用の交通手段を、自動車から公共交通へ転換していただくとする社会実験をおこなっています。参加者の登録を昨年12月15日に開始しています。

<http://www.odekakemm.net/about/index.html>

●**岐阜市コミュニティバス運行事業者の公募について【岐阜市】**

岐阜市では、高齢者等交通弱者の移動手段の確保、交通不便地域の改善、地域内の日常生活における通院、買い物等の需要に対応するため、コミュニティバスの導入を図る必要があります。平成18年度から4地区で試行運行を開始し、現在8地区において運行を実施しています(本格運行1地区・試行運行7地区)。このうち1地区の試行から本格運行への移行と、2地区の試行運行継続にあたり、下記URLのとおり公募を実施しています。

<http://www.city.gifu.lg.jp/c/40122807/40122807.html>

●**カーシェアリング事業への参画と会員募集の開始【三井物産、カーシェアリング・ジャパン株式会社】**

三井物産株式会社は、会員が同一の車を共同利用するカーシェアリングのサービス事業を開始するため、カーシェアリング・ジャパン株式会社を設立しました。カーシェアリング・ジャパンは、2009年1月7日より会員募集(カレコ・カーシェアリングクラブ)し、22日より東京都内でのサービスを開始しています。

[http://www.mitsui.co.jp/release/2008/1189131\\_2817.html](http://www.mitsui.co.jp/release/2008/1189131_2817.html)

<http://www.careco.jp/>

●物流環境大賞の応募を受け付けています【日本物流団体連合会】

日本物流団体連合会では、平成12年6月、物流部門における環境保全の推進や環境意識の高揚等を図り、物流の健全な発展に貢献された団体・企業または個人を表彰する「物流環境大賞」を創設しました。現在、第10回物流環境大賞の応募を受付中です。募集要領については下記URLをご覧ください。

[http://www.butsuryu.or.jp/b\\_kankyo/guide10.html](http://www.butsuryu.or.jp/b_kankyo/guide10.html)

●地球温暖化防止・CO2排出量削減に向け天然ガス充填スタンド16ヶ所新設【佐川急便】

佐川急便株式会社では、天然ガス自動車の導入を促進するため、16ヶ所の営業店に自家用天然ガス充填スタンドを設置し、2009年2月1日より稼働いたします。これにより全国の自家用天然ガス充填スタンドは計23ヶ所となります。

<http://www.sg-hldgs.co.jp/news/2009/news20090119.html>

---

#### 4. イベント情報

●近畿 EST シンポジウム

日時:2009年1月31日(土) 10:00~17:00

会場:アクア文化ホール(大阪府豊中市曾根東町3-7-1)

主催:豊中市、国土交通省近畿運輸局、交通エコロジー・モビリティ財団、  
EST普及推進委員会、豊中市ESTモデル事業推進委員会

[http://www.estfukyu.jp/kinki\\_est\\_symposium.html](http://www.estfukyu.jp/kinki_est_symposium.html)

●交通環境フォーラム2009 in さいたま

～『エコ通勤』で始める自動車と公共交通の「かしこい」使い方～

日時:2009年2月6日(金) 14:00~16:50

会場:プラザノース多目的ルーム(さいたま市北区宮原町1丁目852番地-1)

主催:さいたま市

<http://www.city.saitama.jp/www/contents/1232011422094/index.html>

●第2回 グリーンロジスティクス推進フォーラム

日時:平成 21 年 2 月 17 日(火) 13:30~17:00

会場:霞山会館 東京都千代田区霞が関 3-2-1 霞が関コモンゲート西館 37 階

主催:社団法人日本物流団体連合会

<http://www.butsuryu.or.jp/greenlogistics/greenlogistics2.html>

●第4回アジア EST 地域フォーラム

主催: 日本国環境省、国際連合地域開発センター、大韓民国国土海洋部

日程: 平成 21 年 2 月 24-26 日

場所: 韓国・ソウル

参加予定者: アジア諸国政府ハイレベル、環境と交通に関する専門家、国際機関

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10294>

●交通権学会関東部会

日時:平成 21 年 3 月 7 日(土) 13:30~17:00

会場:明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン 9 階 309H 教室

主催:交通権学会

<http://www009.upp.so-net.ne.jp/kotsuken-gakkai/division/kanto.html>

●エコカーワールド 2009(低公害車フェア)

日時:平成 21 年 6 月 6 日(土)、7 日(日) 10:00~16:00

会場:横浜赤レンガ倉庫広場等(野外オープンスペース)

主催:環境省、独立行政法人環境再生保全機構、横浜市

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10672>

●第四回 日本モビリティ・マネジメント会議

日時:平成 21 年 7 月 31 日(金)、8 月 1 日(土)

会場:大分県別府市 ビーコンプラザ

主催:(社)土木学会・国土交通省(予定)

<http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm.html>

---

## 5. その他

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:[EST@ecomoto.or.jp](mailto:EST@ecomoto.or.jp)(担当:市丸)

=====

発行：環境的に持続可能な交通（EST）普及推進委員会事務局

（交通エコロジー・モビリティ財団）

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[http://www.estfukyu.jp/mailmagazine\\_cancel\\_form.html](http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html)

EST ポータルサイト：<http://www.estfukyu.jp/>